

「発達の遅れ」を抱える子どもが 課題を乗り越え、社会に出るまで

社会人、学校関係者、指導者の3者によるシンポジウムです。

(1) 幼児期に言葉の遅れや多動などがあり、「自閉症・ADHD」と診断されたあと、年中（5歳）の3月から小学6年生まで学習を積み重ね、大学卒業を経て、社会人5年目になる男性Hさん、(2) 約40年間管理職を含む教職に携わってきた元小学校校長Fさん、(3) エルベテーク代表・河野俊一さんが講師を務めます。

「発達の遅れ」を抱えた子どもと親がどのような経緯で学習に取り組み、成長しながらどのような気持ちの変化が生まれたか？ どのような力と習慣が身についたか？ 家庭学習と学校生活に触れながら、療育・特別支援教育・家族支援・就労支援のあるべき姿について話し合います。

連続セミナー
第34回

実例から知る、
「発達の遅れ」が気になる
子どもの教え方



2023年度日本郵便年賀寄附金助成事業

このセミナーは、子どもの気持ちや感覚、遊びを優先させる接し方の紹介ではなく、「発達の遅れを指摘された子どもたちが少しでも良い方向へ進むにはどうしたらいいか」という問題意識に立ち、「ハンディがあっても、小さい頃から適切な関わり方（接し方・教え方）を続ければ、子どもが努力することを学び、子ども自身の力を伸ばせる、伸ばした」という内容・記録に焦点を当てています。

開催日時／12月2日（土）

9:45～11:45（受付開始 9:20～）

会場／川口駅前市民ホール フレンジア

（埼玉県川口市川口 1-1-1 JR川口駅東口すぐ）048-227-7603

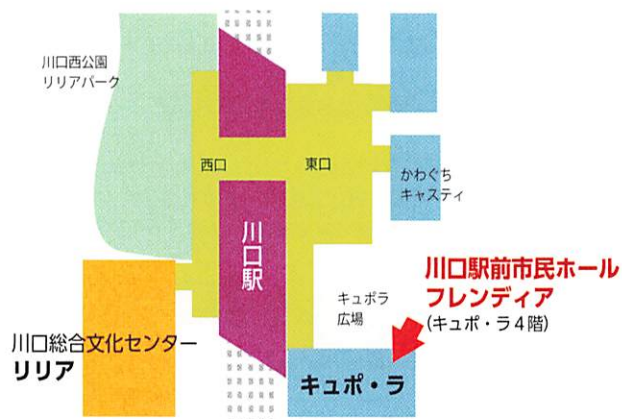
プログラム（シンポジウム）／社会人（Hさん）+

教育関係者（元小学校校長Fさん）+指導者（河野俊一さん）+質疑応答

定員／70名（対象＝保護者、教育・療育・医療・福祉関係者、市民など）

参加費／1,500円（資料代等）

後援／文部科学省、厚生労働省、こども家庭庁、内閣府、埼玉県、さいたま市、川口市、埼玉県教育委員会、川口市教育委員会、蕨市教育委員会、草加市教育委員会、越谷市教育委員会、北区教育委員会、豊島区教育委員会、足立区教育委員会、荒川区教育委員会、埼玉県医師会、埼玉県小児科医会、埼玉県看護協会、日本言語聴覚士協会、埼玉県社会福祉協議会、川口市社会福祉協議会、全日本私立幼稚園連合会、全国私立保育連盟
協力／NPO法人 ともくん家（生活介護事業所もんきいぼっど）



シンポジウム 参加者

社会人の視点から Hさん

幼児期に「自閉症・ADHD」の診断を受ける。言葉の遅れや強いこだわり・偏食があり、また注意散漫で落ち着きがなく、ピョンピョン跳ぶことも。年中(5歳)の3月から小学6年生まで学習を積み重ね、大学卒業を経て、社会人5年目。

「もし自分が子どもの頃に『好きなようにさせてあげましょう』というような教育をずっと受けていたら、『してはいけないこと』に気づくことさえなかったのかなと、いま振り返ると強く感じるところです。」

学校教育関係の視点から Fさん(元教師)

38年間に及ぶ、管理職を含む教師生活(校長10年間)を送ったあと、現在、教育委員会に所属し、生活指導や学校支援などの教育行政を担当。「発達障害の子どもたちの課題を改善できる指導」に興味をもち、2年前から当セミナーに参加するようになる。

「教育は、信頼関係の上に成り立っています。学校と家庭が、信頼関係をしっかりと築いていくことが大切です。子どものために、一層の連携・協力を大事にしていきたいと思っています。」



第33回セミナーの様子
(2023年9月30日 川口駅前市民ホール フレンドシア)

指導者の視点から 河野俊一さん

エルベテーク代表/医療法人エルベ理事

1996年、民間の教育機関エルベテーク設立。発達の遅れと課題をもつ子どものためのコースも開設し、現在に至る(川口/大阪/アメリカ)。

著書に『発達障害の「教える難しさ」を乗り越える』『自閉症児の学ぶ力をひきだす』(いずれも日本評論社)、『誤解だらけの発達障害』『子どもの困った! 行動がみるみる直るゴールデンルール』(いずれも新潮社)など。2017年11月~2018年1月、『教育新聞』(教育新聞社)にコラム(10回)を連載。当セミナーをはじめ、講演会、研修会での講師多数。

*エルベメソッド

「まずしっかり見る、聞く姿勢を育てることが最優先」「関心のない物事に対しても注意を向けることができる姿勢づくり」など12項の具体的な教育方針と指導目標を掲げ、学習を通して子どもの成長をめざす指導法。特徴は「発達上の遅れを抱える子どももそうでない子どもも、身につけさせたい力は同じである。そして、その接し方・教え方、指導の仕方も原則は同じである」という考え方と、約30年間の豊富な事例・実績に基づく実践。

連続セミナー 第34回

実例から知る、
「発達の遅れ」が気になる
子どもの教え方

お申込み/事前申し込み制(定員になり次第、締め切らせていただきます)

▶当NPO法人のHPにアクセスいただき「申し込み専用フォーム」からお申し込みください。

教育を軸に

検索

▶お電話(080-8726-1000)でも受け付けております。
▶FAXでのお申し込みは「12月2日セミナー参加希望」と明記の上、お名前・ご住所・ご連絡先を添えて、048-837-6926宛てFAX願います。

*密集を避けるために70名での利用とします
(会場定員81名)

*感染防止対策にご協力ください

主催/特定非営利活動法人 Education in Ourselves
教育を軸に子どもの成長を考えるフォーラム
(〒336-0026 さいたま市南区辻 5-6-12-408)



ホームページの
QRコードです

企画協力/エルベテーク(埼玉県川口市本町 4-13-11 電話048-223-8224)

このセミナーから生まれた出版物です。

書店やオンライン書店でお買い求めください。

親が語る、「発達の遅れ」が気になる 子どもの教え方①

これまでセミナーで報告された対談形式の実例の中から7回分をピックアップし、1冊の本にまとめました。

発行=当NPO法人/定価1,650円(税込)



力をひきだす、学びかたドリル①「書く」からはじめる せん、すうじ・かず

「書く」と学び方にこだわった学習ドリルです。対象は就学前の幼児と小学生。

監修=河野俊一氏

発行=当NPO法人/定価1,100円(税込)



力をひきだす、学びかたドリル②「書く」からはじめる 10までのたしざん・ひきざん

「たして10になる数」とたしざんの基本的な組み合わせを九九のように覚える学習ドリル。ひきざんやくりあがり・くりさがりの練習がグッと楽しい。

監修=河野俊一

発行=当NPO法人/定価1,100円(税込)



●近刊● 今秋第3巻発行予定

『力をひきだす、学びかたドリル③「書く」からはじめるくりあがり・くりさがり』